

(5) 取組の実績と成果－水源林機能増進

1) 目的

市町村が管理する簡易水道等の上流部の森林であって、水源涵養機能等の低下が懸念される森林を対象として、間伐などの森林整備を実施し、水源涵養機能の増進を図る。

2) 事業の内容

森林整備の要件	森林整備の内容
<p>市町村が管理する簡易水道等の水源の森林であって、次の全ての要件を満たす森林であること。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 小流域に取水口があり、それに依存する簡易水道等の集水区域の森林であること。2. 過密林であって下層植生がないなどの森林整備が必要な森林であること。3. 森林経営計画認定森林でないこと。また、森林経営計画の作成が見込まれていない森林であること。4. 市町村森林整備計画で定める公益的機能別施業森林であること。5. 県と森林所有者等との間で事業実施後 10 年間の皆伐及び転用の禁止、並びに公益的機能別施業森林の伐期までの伐採制限を定めた協定を締結することができる森林であること。	<ol style="list-style-type: none">1. 原則として、本数率で 35%以上の除伐、間伐2. 不成績造林地にあっては、広葉樹の生育があり、広葉樹の成林が見込まれる場合には、針広混交林へ誘導するための森林施業3. 伐採木の玉切り、集積4. 森林整備を実施する箇所までの幅員 2m程度の簡易な作業路の開設

3) 取組実績

【取組事例①】

平成 27～28 年度 水源林機能増進事業	区分	面積	事業費
多野郡神流町大字塩沢地内 塩沢1 森林整備区域	区域調査	105.42 ha	6,782,400 円
	実施計画調査	7.81 ha	
	森林整備	7.43 ha	
着工前		完成	
			
水源林機能増進			
林内の下層植生が消失し水源涵養機能が低下している。		間伐を実施し、林床に光をあて、下草などの下層植生を回復させる	

【取組事例②】

平成 26～27 年度 水源林機能増進事業	区分	面積	事業費
甘楽郡南牧村大字千原地内 沢口森林整備区域	区域調査	58.69 ha	25,207,200 円
	実施計画調査	46.86 ha	
	森林整備	41.19 ha	
着工前		完成	
			
水源林機能増進			
手入れがされず、水源涵養機能が低下している。林内は暗く下層植生が乏しい。		間伐を実施し、林床に光をあて、下草などの下層植生を回復させる。	

(6) 取組の実績と成果－松くい虫被害地の再生

1) 目的

松くい虫被害木が放置され、笹や竹が繁茂した森林を対象として、コナラやスギなどを植栽し、新たな森林へ再生を図る。

2) 事業の内容

森林整備の要件	森林整備の内容
<p>松くい虫被害地であって公益的機能が低下し、森林の再生が必要な森林で、次の全ての要件を満たす森林であること。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 松くい虫被害地の森林であること。2. 松くい虫被害木の割合が 50%以上であること。3. 事業実施後保安林指定できる森林であること。	<ol style="list-style-type: none">1. 被害木等の伐倒、玉切り、集積2. 地拵え、植栽3. 下刈、獣害防止施設等の設置4. 広葉樹の生育があり、広葉樹の成林が見込まれる場合には、広葉樹林へ誘導するための森林施業5. 森林整備を実施する箇所までの幅員 2m程度の簡易な作業路の開設

3) 取組実績

【取組事例①】

平成27年度～	区分	面積	事業費
松くい虫被害地の再生事業	区域調査	11.80 ha	17,525,900 円 (H27～29 予算)
前橋市粕川町中之沢地内 螺沢森林整備区域	実施計画調査	4.16 ha	
	植栽面積	4.16 ha	

着工前

完成



松くい虫被害地の再生

松くい虫による松枯れにより森林が荒廃し、公益的機能が低下している。

森林を造成するため、地拵え、植樹、下刈を実施するとともに獣害防止対策を行った。

【取組事例②】

平成26年度～	区分	面積	事業費
松くい虫被害地の再生事業	区域調査	107.93 ha	71,992,800 円 (H26～29 予算)
前橋市富士見町赤城山地内 金丸森林整備区域	実施計画調査	30.92 ha	
	森林整備	18.13 ha	

着工前

完成



松くい虫被害地の再生

松くい虫による松枯れにより森林が荒廃し、公益的機能が低下している。

地拵えを実施後、植栽を行った。健全な森林になるよう下刈、獣害防止を合わせて実施した。

(7) 成果

平成 26 年度の事業開始から4年間で約 2,167haの森林を対象に整備を実施し、5ヶ年では 3,646haの森林が整備できる見込みです。

条件不利地森林整備、水源林機能増進では、これまで放置されていた森林を整備したことにより、林内の光環境が改善され、下層植生の増加が見られるなど、土砂災害の防止や水源涵養機能等の森林の持つ公益的機能の維持・増進が図られました。

また、松くい虫被害地の再生については、松枯れにより荒廃した森林を対象に植栽を行い、下刈、獣害防止対策を実施したことで、土砂災害の防止や水源涵養機能等の森林の持つ公益的機能の維持・増進が図られるとともに、野生鳥獣被害を抑制しました。

2. 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進

(1) 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進 実績・計画

表 7 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進の事業実績(予算年度別) [単位:千円]

事業名	年度	H26	H27	H28	H29	H30 (見込み)	合計 (見込み)
	森林ボランティア活動の推進		3,718	8,819	6,796	6,851	11,533
森林環境教育の推進		893	6,147	6,141	5,555	5,128	23,864
計		4,611	14,966	12,937	12,406	16,661	61,581

(2) 森林ボランティア活動の推進

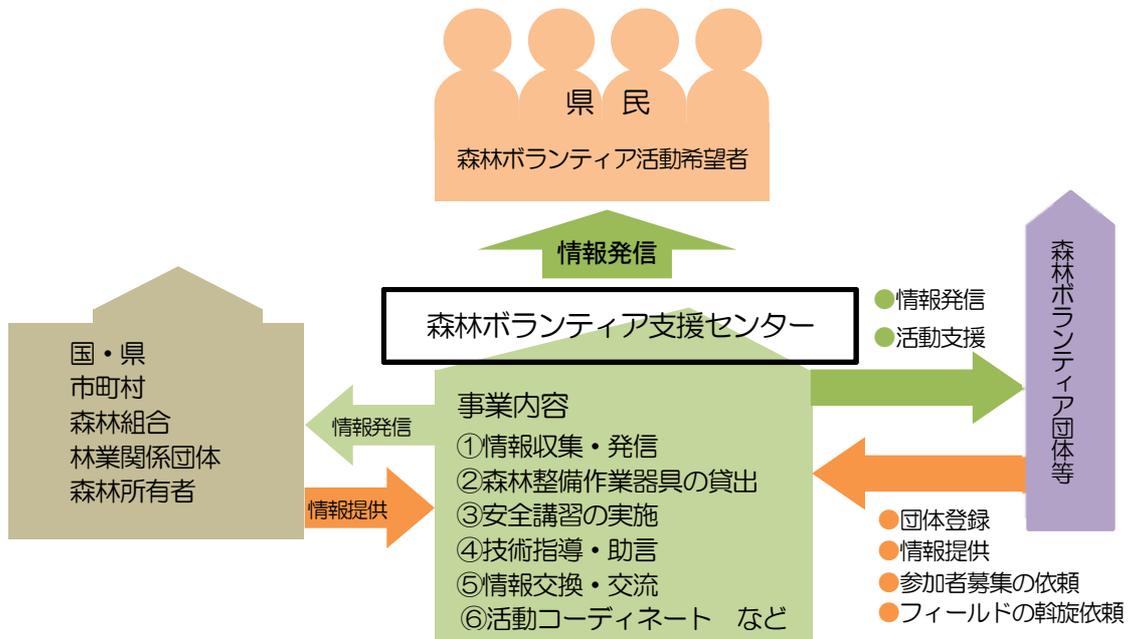
「森林ボランティア支援センター」を運営し、専用ホームページ・情報誌「モリノワ」、メールマガジン等による情報の発信や刈払機の取扱いなどの安全指導、森林整備作業器具の貸出し、森林ボランティア体験会の開催など、森林ボランティア活動への総合的なサポートを実施しました。

また、「森林ボランティア体験会」や「ボランティア交流会」の開催、市町村提案型事業等への講師・コーディネーターの派遣等を行いました。

表 8 森林ボランティア活動の事業実績(予算年度別) [単位:回、人]

事業内容	年度	H26	H27	H28	H29	H30 (見込み)	合計 (見込み)
	森林整備作業用 機械・器具の貸出	貸出回数	47	71	77	72	70
開催回数		11	8	11	10	10	50
安全講習会の開催	参加人数	226	97	394	152	—	869
	開催回数	—	3	5	3	3	14

- 森林は、木材を生産し災害を防ぎ清らかな水を貯えるなど多くの働きを持っていますが、林業収益性の悪化、林業従事者の不足・高齢化等により森林整備が十分に実施できていません。
- 現在、自ら積極的に森林整備等の活動をボランティアとして行う個人・団体・企業が増えており、その活動は、私たちの暮らしのためにも、また、地球温暖化防止のためにも、非常に重要な存在です。
- この森林ボランティアの活動を推進していくために、ボランティア情報の収集と発信、指導や森林整備作業器具の貸出など、総合的なサポートを行う拠点が、「森林ボランティア支援センター」です。



(3) 森林環境教育の推進

緑のインタープリター養成講座の実施により、5ヶ年で97名の「緑のインタープリター」が養成される見込みです。また、「緑のインタープリター活動登録制度」により5ヶ年で138名が活動登録される見込みです。

市町村提案型事業(森林環境教育)を円滑かつ効果的に運営するため、新たにコーディネート業務を実施しました。



緑のインタープリター養成講座

表 9 森林環境教育の推進の事業実績(予算年度別)

[単位:回、人]

事業内容		年度					合計 (見込み)
		H26	H27	H28	H29	H30 (見込み)	
緑のインタープリター 養成講座(新規)	開催回数	—	13	12	12	12	49
	養成者数	—	26	22	24	25	97
緑のインタープリター 養成講座(経験者)	開催回数	4	4	4	—	—	12
	養成者数	29	10	4	—	—	4
緑のインタープリター 登録者数	登録者数	29	62	94	113	138	138
フォローアップ研修の 開催	開催回数	—	3	3	3	3	12

(4) 成果

1) 森林ボランティア活動の推進

森林ボランティア支援センターを運営し、専用ホームページや情報誌、メールマガジンなどによる情報発信や刈払機取扱いなどの安全研修、森林整備作業器具の貸出し、ボランティア体験会・ボランティア交流会などを実施することで、森林ボランティア活動が県内各地で展開されました。

2) 森林環境教育の推進

「緑のインタープリター活動登録制度」により活動登録した緑のインタープリターは、市町村提案型事業(森林環境教育)、小中学生を対象にしたフォレストリースクール、緑の少年団育成事業、県民を対象にした自然観察会、自然講座等へ講師等として派遣され、森林環境教育の推進を図ることができました。

3. 市町村提案型事業

目的に応じ、以下の事業を実施しました。

表 10 市町村提案型事業の区分・目的

事業名	目的
荒廃した里山・平地林の整備	市町村と地域住民や NPO・ボランティア団体等との協働による地域に根ざした森林整備を支援する。
	整備 地域住民や NPO・ボランティア団体等が実施する森林・竹林の整備に伴う、会議開催、刈払い、伐倒(伐竹)、玉切り、集積、積込み、運搬等に対し支援する。
	苗木の購入 本事業の整備箇所において実施する植栽のための高木性苗木購入に対して支援する。
	管理 地域住民や NPO・ボランティア団体等が実施する森林・竹林の管理に伴う、会議開催、刈払い、集積、積込み、運搬等に対し支援する。
	困難地整備支援 地域住民や NPO・ボランティア団体等では整備が困難な箇所について、市町村が実施する森林・竹林の整備について支援する。 整備後の管理については、地域住民等が行う。
	刈払機・粉砕機の購入 本事業に取り組む地域住民等に貸与するため、市町村が購入する刈払機、粉砕機を購入する場合に支援する。
貴重な自然環境の保護・保全	市町村あるいは市町村と地域住民が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅種及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種(約650種)が生息している地域の保護・保全活動を支援する。
森林環境教育・普及啓発	児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動を支援する。また、森林の機能や重要性について普及啓発する取り組みを支援する。
森林の公有林化	水源地域の森林や平地林の購入(公有林化)あるいは平地林を造成しようとする市町村を支援する。
独自提案事業	ぐんま緑の県民税の趣旨・目的に適合し、適切な事業であると認められ、評価検証委員会の承認を得た、市町村の実施する事業を支援する。

(1) 市町村提案型事業 実績・計画

事業項目、年度ごとの事業費の推移は、以下のとおりです。

表 11 市町村提案型事業 実績・計画(予算年度別)

〔単位:円〕

事業名	年度			事業量	
	市町村数	事業数	補助金額		
荒廃した里山・平地林の整備	H26	22	63	121,133,503	森林: 32.6ha 竹林: 33.0ha 管理: 5.1ha
	H27	26	112	164,344,000	森林: 58.8ha 竹林: 21.4ha 管理: 39.5ha
	H28	29	175	193,992,000	森林: 54.6ha 竹林: 28.6ha 管理:109.0ha
	H29	29	214	167,710,000	森林: 35.0ha 竹林: 32.2ha 管理: 182.7ha
	H30	27	272	251,031,000	森林: 57.1ha 竹林: 39.9ha 管理: 253.1ha
	計	29	836	898,210,503	森林: 238.1ha 竹林: 155.1ha 管理: 589.4ha
貴重な自然環境の保護・保全	H26	6	7	2,021,860	動物: 2種 植物: 6種
	H27	10	22	5,588,000	動物: 12種 植物: 24種
	H28	12	25	7,606,000	動物: 13種 植物: 25種
	H29	11	21	4,232,000	動物: 12種 植物: 31種
	H30	11	23	5,347,000	動物: 12種 植物: 32種
	計	12	98	24,794,860	動物: 13種 植物: 37種 計: 50種
森林環境教育・普及啓発	H26	11	15	4,122,811	参加者数: 2,151人
	H27	14	31	11,194,000	参加者数: 5,825人
	H28	20	39	18,259,000	参加者数: 9,484人
	H29	20	39	18,257,000	参加者数: 10,667人
	H30	19	40	20,210,000	参加者数: 未確定
	計	23	164	72,042,811	参加者数: 28,127人
森林の公有化	H26	3	3	14,321,000	水源林:11.0ha 平地林: 0.3ha 計:11.4ha
	H27	1	1	10,000,000	平地林: 0.3ha 計: 0.3ha
	H28	1	1	2,645,000	水源林: 2.6ha 計: 2.6ha
	H29	2	2	19,668,000	水源林:19.9ha 計: 19.9ha
	H30	-	-	-	
	計	4	7	46,634,000	水源林:33.5ha 平地林: 0.6ha 計: 34.1ha
独自提案事業	H26	4	5	4,344,200	森林: 5.4ha 竹林: 3.1ha 計: 34.1ha
	H27	5	6	8,609,000	森林: 2.2ha 竹林: 4.5ha 計: 34.1ha
	H28	2	2	1,838,000	森林: 1.0ha 竹林: 1.8ha 計: 34.1ha
	H29	2	2	1,404,000	森林: 0.9ha 竹林: 1.4ha 計: 34.1ha
	H30	2	2	3,412,000	未確定
	計	5	13	19,607,200	森林: 9.5ha 竹林: 10.8ha 計: 34.1ha
合計	H26	28	93	145,943,374	※平成30年度については、計画値。
	H27	31	172	199,735,000	
	H28	35	242	224,340,000	
	H29	35	278	211,271,000	
	H30	35	337	280,000,000	
	計	35	1,118	1,061,289,374	

(2) 取組事例

【取組事例①】

平成27年度 荒廃した里山・平地林の整備 【困難地整備支援】	事業実施主体	富岡市
	整備面積	0.50 ha
	事業費	2,916,000円
富岡市	補助金	2,916,000円

着工前

完成



困難地整備支援

竹林の全伐を0.5ha実施。景観が改善されるとともに、野生鳥獣の隠れ場所が解消され、農作物等の被害が減少した。

【取組事例②】

平成28年度 荒廃した里山・平地林の整備 【整備】	事業実施主体	関口会
	整備面積	0.15 ha
	事業費	100,227円
安中市	補助金	100,000円

着工前

完成



整備

竹林整備を実施したことで、野生鳥獣の隠れ場所がなくなり、農作物被害が減少した。